

話題

街にひろう

ピカピカの新1年生

桜が満開となった4月7日、午

前中は市内の各小学校、午後は各
中学校で入学式が行われました。

ここ奥野小学校では、30人の新
入生が夢と希望を胸に校門をくぐ
りました。

在校生や先生たちの温かな歓迎
の拍手に迎えられて、新入生はす



緊張した表情の新1年生たち

てきな笑顔で入場しました。担任
の先生が、新入生一人ひとりの名
前を呼ぶと、「はい！」と元気な声
で返事をして立ち上がりました。

宮本経之校長は、式の中で「こ
入学おめでとうございます。一日
も早く学校に慣れて楽しい学校生
活を送ってください。そのために
は①命を大切にしよう②元気な声
であいさつをしよう③勉強をしつ
かりやろう」と3つのお願いを述
べました。

奥野小学校は、全校生徒220人
のとてもアットホームな学校です。
卒業するまでの6年間で、みんなと
お友だちになれるといいですね。

元気にお返事できたよ

4月10日、牛久第二幼稚園で入
園式が行われ、新たに29人の園児
たちが「たんぽぽ組」の仲間入り
をしました。

保護者と手をつなぎ入場した園
児たちは、丸い輪になっていすに
座り、一人ひとり名前を呼ばれる
と、元気に「はい」と大きな声で返
事をしました。

吉田洋子園長からは「幼稚園の
生活は遊びが中心で、いろいろな



名前を呼ばれて元気にお返事

遊びを通して思いやりや優しさな
ど人とのかわり方や、身近な環
境に触れ、気付きや好奇心から学
びの基礎を培っていきます。園児
たちが一日でも早く園に慣れ安心
して楽しく遊べるように、安全第
一を心掛けていきます。家に帰っ
たら『頑張ったね』と、話を聞き気
持ちを受け止めてあげてください
い」とあいさつがありました。

また、年長組の金井悠弥さんと
山崎聖奈さんから「今日からご入
園ですね。みんなで仲良く遊びま
しょう」とお迎えのことばがあり
ました。初めての入園式で緊張し
た園児たちでしたが、先生たちの
歌やパネルシアターで和やかな雰
囲気となりました。

省エネ活動への表彰状

2月25日、牛久市と牛久小学校
が、関東地区電気使用合理化委員
会から表彰を受けました。

この表彰は、平成19年度に実施
をした牛久小学校の耐震補強・大
規模改造工事で、深夜電力を利用
した蓄熱方式によるエアコンを導
入し、電気使用量の削減を図ると
ともに、電気使用量が一定の値に
達すると警報で知らせる「デマン
ドコントロール」を設置し、日
常的な節電に努力していることが
評価されたものです。

今後も、他の事業所や学校の模
範となつて電気の効率的な使用を
先導することが期待されています。

表彰状

優秀賞

牛久市役所
牛久市立牛久小学校 殿

貴事業所は電気使用合理化
活動において頭書の成績を
得られました

このご努力に敬意を表し
ここに表彰いたします

平成二十二年二月二十五日

関東地区電気使用合理化委員会
委員長 野村 宏

省エネ活動で優秀賞を受賞

エネルギーの地産地消で地域循環型社会を



機械の運転ボタンを押す池辺勝幸市長

4月16日、奥原町にある牛久クリンセンターの敷地内に完成したバイオディーゼル燃料製造施設の稼働式が行われました。

この施設は、市で取り組んでいる「バイオマスタウン構想」の施策の一環として、市内から出る廃食用油からBDF（バイオディーゼル燃料）を製造し、市の公用車などで消費する、というエネルギーの地産地消・地域循環の確立を指して造られました。

これにより、1日当たり230リットルの廃食用油からBDFを200リットル製造することがで



精製されたBDF

きるようになりました。

池辺勝幸市長は「この施設の稼働は単にバイオディーゼル燃料を製造することだけでなく、市内の荒れた遊休農地を利用して菜種油を作り、学校給食で利用するという循環型社会の1つのモデルです」とあいさつしました。

式典には、牛久市家庭排水浄化推進協議会やNPO法人「アサザ基金」、牛久市近代農業促進協議会などの「バイオマスタウン構想」の関係者も招かれ、池辺市長が稼働ボタンを押すと静かな音を立てながら機械が動き出しました。

増え続ける遊休農地を生かした資源作物（菜種などの油糧作物）を、地域の方々の協力を得て栽培し、収穫した地場産の食用油を市内の学校給食などで利用した後バイオディーゼル燃料製造施設で燃料に替えるという、地球に優しい循環サイクルが回り始めました。

安心安全で暮らせるまちづくりのために



テープカットをする来賓の方々

3月29日、「牛久消防署東部出張所竣工式」が開催されました。

この出張所は久野町に建設され、消防空白地帯といわれてきた、東部地区の救急車両の到着時間が早くなるなどの効果をもたらします。

式の中で池辺勝幸市長は「これからは地域住民の安心安全をどのように確保していくかが重要です」とあいさつ。正面玄関前ではテープカットが行われました。

今後は東部地区の消防力の強化、および防災体制強化の役割を担っていきます。



開通のテープカットをする来賓の方々

3月21日、首都圏中央連絡自動車道路（圏央道）阿見東インターチェンジから稲敷インターチェンジ間約6キロメートルの開通式が行われました。

当日は、国、県および通過市町村の関係者など約350人が参加し、開通式典、テープカットセレモニーの後、開通区間の走り初めパレードが行われました。今回の開通で、牛久市に係る部分の工事はすべて完了し、今後、平成24年度の東関東自動車道路接続による全線開通を目標に整備が進められていきます。

おわびと訂正

広報うしく4月1日号19ページ「民間自治功労者表彰式」の記事中、吉田善江さんの功績に誤りがありました。正しくは「上池台区自主防火推進委員、上池台自治会会長」です。おわびして訂正いたします。

ふるさと牛久応援寄付 ありがとうございます

今年1月から3月までの間に、次の方々から、ふるさと牛久応援寄付をいただきました。頂いた浄財は、指定された事業に有効活用させていただきます。ありがとうございます。(右からお名前と寄附金額、活用する事業)

○大野金一様
10万円

文化芸術振興事業へ

○佐藤安(サトウ理容店)様
10万円

図書館図書 of 充実へ

○牛久ロータリークラブ様
9万9750円

安全安心まちづくり事業へ
(牛久二小防犯マップ作成)

○オエノンホールディングス株式会社様
6万5500円

文化芸術振興事業へ

※平成20年1月以降の寄附金額が10万円以上の方(平成20年1月以降の寄附累積額が10万円以上に達した方を含む)で希望される方を対象に、市役所本庁舎内に設置する銘板にお名前を記して顕彰させていただきます。

時を越えて写真の寄贈

三日月橋生涯学習センターのホールには、これまでであるモノクロの写真が飾ってありました。「牛久沼の浮田」と題されたこの作品は、田を増やすために牛久沼にまで田んぼをこしらえた、という昭和47年の歴史的事実を記録した貴重な作品です。

「広報うしく」で撮影者を募ったところ、名乗り出たのが、石引写真館の石引昭さん(左上写真)です。石引さんは、「実は

展示してある作品には続きがあるんです」と、新たに新地区全体が入った『新地の風景』(下写真)という作品を寄贈していただきました。現在、三日月橋生涯学習センターのホールに展示中です。



新入学児童の安全のために防犯ブザー寄贈

4月6日、常陽銀行牛久支店から犬の形をした防犯ブザー720個が、市内小学校の新1年生に寄贈されました。

この防犯ブザーは、常陽銀行が毎年地域貢献活動の一環として贈呈しているもので、新入学生の防犯に役立てられています。



犬型の防犯ブザー

吹奏楽チャリティーコンサートの寄付

4月6日、東洋大学附属牛久高等学校吹奏楽研究部から、チャリティーコンサート of 収益金27万5888円と1セントが寄付されました。

このチャリティーコンサートは、吹奏楽研究部のボランティア活動の一環として、3月29日に市中央生涯学習センターで実施されたもので、寄付金は牛久市社会福祉協議会を通じて地域の福祉活動に役立てられます。



池辺勝幸市長へ寄付を渡す皆さん



常陽銀行牛久支店から防犯ブザーの寄贈

スポーツチャンピオンフェスティバル2008柔道大会

部 門	優 勝	準 優 勝	第 3 位
1年生の部	河元慶大(神谷小)	中野鈴菜(向台小)	山脇温・山脇隼(牛久二小)
2年生の部	飯田あゆ(牛久二小)	小林零生(牛久二小)	
3年生の部	木野山晶(向台小)	市田祥花(向台小)	阿波野翔亮(中根小)
4年生の部	木村綾乃(岡田小)	川嶋健人(牛久小)	伊宝奈那(奥野小)
5年生男子の部	市田真輝(向台小)	長倉誠(向台小)	木野山力隆(向台小)・奥山祥太(牛久二小)
6年生男子の部	藤田碧(牛久小)	菅内卓(向台小)	
5・6年生女子の部	関梨菜(岡田小)	大倉彩夢(岡田小)	
中学生男子の部	森川純太(牛久一中)	関慎吾(牛久一中)	奥山竜樹(牛久三中)
中学生女子の部	斉藤菜津子(下根中)	藤田紫(牛久三中)	桑野友里(牛久三中)

<3月22日(日)、牛久運動公園体育館、159人参加>

(敬称略)



このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

ちょっと
休憩
びれいく

皆さんのお便りから

☆：広報うしく5月1日号で1000号おめでとうございます。市、暮らしの情報、話題、歴史などなど、市民が必要とする知っておくべき情報がいっぱい掲載されている広報紙。とても便利です。これからも分かりやすい、生活に役立つ情報をお願いいたします。

神谷・長澤さん

☆：親の意見と茄子の花は千に一つの無駄もない。3月に入り、今年初めて、友が私の家に遊びに来ました。お年賀のタオル1本を差し出し、今年もよろしくね。友は、嫁に来たとき、義母から、年が変わって初めて人の家に伺うときはこうするんだと言われ、守って20年近く。義母も偉い

が守っている嫁も偉い。それを聞き私は嫁に何を伝えたら考えさせられました。その友の素直な人柄に心打たれ、ほのぼのとした一日でした。

南・荻野さん

短歌・俳句・川柳コーナー

うぐいすの声で目覚める心ち良さ

さくら台 二国さん

さくら咲き芝生の色もみどり増す

女化町 清水さん

友きたるあれもこれもと夜が明ける

刈谷町 小山さん

たんぼばは親しみやすい野の花よ

小坂町 石島さん

新緑や会話はずんで講座室

栄町 増田さん

リストラや同期の桜明日我が身

島田町 中根さん

めでたさや雪をこやしの福寿草

島田町 中根さん

店先にいと愛らしき猫柳

島田町 坪井さん

椿咲き和菓子のお花手に受けん

田宮 岡村さん

稲びかり伏して尻だし小屋に逃げ

プライド捨てしいととき犬よ

岡見町 根本良子さん

添寝する曾孫の寝息いとやさし

心に触るる幸せの詩

桂町 木村さん



南・犬塚さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後もたくさんのお便りをお待ちしています。